

近畿税政連

第226号

平成29年(2017年)

8月10日

発行所 近畿税理士政治連盟
発行人 久保直己 / 編集人 小川由美子

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



春日大社のオオガハス (奈良市)

撮影：河田 秀雄 (城東支部)

■ 税理士会と税政連の関係	2
■ 会員研修会を開催(高市早苗総務大臣が講演)	3

焦点

先日、税政連役員として証票伝達式に出席した際、過去に自分が出席した時のことを振り返ってみた。税理士バッジを手にした自分は、目の前にある仕事を数多くこなしていくことに一生懸命で、他の事はあまり考えていなかった気がする。その後、税理士会の会務に携わり、税政連の活動に参加するようになり、先輩方の粉骨砕身によって今日の税理士制度の維持・発展があり、われわれやわれわれの関与先に関わる税制改正が数多く実現されてきたということを知ることになった。私が今、税理士として業務ができることは、多くの先輩会員の努力や貢献の上に成り立っているということを感じる日々である。近年、税政連の組織力の

「これからのため」

低下を強く感じる。税政連における組織力とは何であろうか。それは会費の納入率と言えるだろう。これから税理士として業務を行っていく上で「税理士制度の維持・発展及び税理士の権益確保・拡充」ということは非常に重要なことであり、これはまさに税政連の目的である。これらの目的を達成するためには、すべての税理士会員が税理士党として団結し組織拡大を図ることにより、国会議員に働きかけ税理士会からの要望を実現するための法案を成立させていくことである。われわれのこれからのために、税政連の組織拡充および活発な活動は必要不可欠である。一人でも多くの会員が、税政連の目的と必要性、その活動内容を理解し、会費の納入を通してお互いを支えあう組織となっていくことを願うのである。

税理士会と税政連の関係…税理士法第49条の11が両者の接点

近畿税理士政治連盟副会長 後安宏彦

1. 税理士会の建議とは

税理士法第49条の11に「税理士会は、税務行政その他租税又は税理士に関する制度について、権限のある官公署に建議し、又はその諮問に答申することができる」とあり、同法49条の15に「この規定は日本税理士会連合会(以下「日税連」という)に準用する」となっている。これを受け、近畿税理士会(以下「近税会」という)は、その年の3月に税制改正に関する意見書を日税連に提出する。日税連は、各单位会から提出された意見書などを基に審議し、毎年6月に税制改正に関する建議書を取りまとめている。



後安宏彦

2. 建議書の特徴…ここが重要!!

この建議は、学術的な研究が行われ、その結果を論文にまとめるというよりは、実務を知る税務の専門家の立場から税制・税務行政の改善に努める税理士の社会公共的な使命と同時に責任を遂行するという観点から行われている点に大きな特徴がある。

3. 意見書(建議書)は誰が作成しているのか

近税会会務執行規則51条で「各部の事務分掌は、各部所掌事項規程で定める」とされ、それによると「調査研究部」の所掌事項の4に「税務行政その他租税若しくは地方税に関し、税務官公署への建議または答申に関する事項」と決められている。また、制度部の所掌事項6に「税理士制度に関し、官公署その他への建議または答申に関する事項」と定められている。これらにより、調査研究部が毎年税制改正の意見書を取りまとめる。制度部については、必要な都度税理士制度に関する意見書を取りまとめることになる。

4. 情熱部員の話

例えば、調査研究部は約20人の部員で構成され、毎年7月から意見書作成に向けて活動がスタートする。部員を税目ごとに班分けをし、各々が意見書の項目を提出しとりまとめを行っていく。また、会員・支部などからの意見についても部会で配布され、検討を行っていく。月1回から2回の部会を開催し、さらに部員はその部会へ提出する項目を業務の合間を見つけて作成することになるので、結構労力を費やすことになり使命感とともに熱い情熱を持った部員が多いのが特徴である。この作業を翌年の2月初旬まで取捨選択を繰り返し第1次案ができ、その後理事会に報告され、正副会長会、常務理事会の成案承認をうけ、理事会に報告後日税連に提出されるのである。

税政連からも、調査研究部、制度部、公益活動対策部に部員として加わっている。その理由は、政治活動を行う立場からの意見を述べることで、情報を入手し税政連活動に反映することである。もちろん、他の部員と同様に意見書作成などのために情熱を燃やしている。

5. ここに尽きる…税理士会と税政連の関わりについて筆者の見解

税理士法第49条の11。この条文に、税理士会と税政連の関わりを端的に見いだすことができる。税理士会の建議は、上記2で述べたように、実務を知る税務の専門家の立場から税制・税務行政の改善に努める税理士の社会公共的な使命と同時に責任を遂行するという観点から行われている。従って、建議書を作成することが最終目的ではなく、それが実現できて初めて使命の達成と責任が遂行されたことになるのである。

税法、税理士法などはすべて法律である。これらを改正するには、国会において法案として成立させる必要がある。これを成立させるには、国会議員・政党などに法案の提出・審議などのあらゆる段階から運動をしなければ到底実現することはできない。そのため、政治活動が制限されている税理士会とは別組織の税政連が、税理士会の要望実現に向けて活動するのである。

このように、税理士会と税政連の関係は税理士法第49条の11により必然的に発生するものであり、それは税理士法第1条の社会公共的な税理士の使命を実現するためのものである。



焦点……………	1	後援会ニュース……………	4
税理士会と税政連の関係……………	2	かんさいすずめ……………	11
会員研修会を開催……………	3	銀河系……………	11

会員研修会を開催

6月26日 近畿税理士会館

第1部「平成29年度税制改正について」

第1部では、近藤雅人近畿税理士会前調査研究部長による講演があった。税制改正に加え、日本税理士会連合会による「平成30年度税制改正に関する建議書」の解説がなされた。これらの改正や建議の背景、趣旨についても説明がなされ、より理解を深めることができた。また建議を行うためには、我々税政連の活動が重要であることを、改めて認識することができた。



近藤雅人 近税会前調査研究部長

第2部

「マイナンバーカードの利活用に向けて」

第2部では、高市早苗総務大臣による講演があった。マイナンバー制度の概要、関連法、今後の展望の解説がなされた。

配布資料の「マイナンバーカード利活用推進ロードマップ」は、昨年高市大臣の指示により作成されたもので、さまざまな分野において順次マイナンバー制度を導入していくことが記載されており、分かりやすいものであった。

マイナンバーカードについては、カードの取得率が伸び悩んでいるが、身分証明書としての利用の推進、住民票等コンビニ交付サービスをはじめとした行政サービスの利便性の向上、さらに民間サービス事業者との連携に向けて取り組んでいる。またマイナポータルウェブサイトへのログインには、ICチップの付いたマイナンバーカードが必要であり、是非ともカードの取



高市早苗 総務大臣

得推進をお願いしたいとの説明があった。

次にマイナポータルでは、行政機関の持つ自己の特定情報やそのやり取りの履歴、行政機関からのお知らせの確認ができ、民間事業者による情報伝達としての活用、自治体による子育てサービス情報の提供やオンライン申請、納税等の公金決済とのシステム連携に活用することを目指している。また利便性の高いアプリを開発、SNSとの連携導入を予定している。

さらにe-Taxとの連携については、マイナポータルにログインすると、e-Taxのメッセージボックスが閲覧可能となる認証連携が開始され、平成30年分所得税確定申告から、申告データを読み出すことが可能となる予定である。またマイナポータルでは、本人と代理人となる税理士が同席し代理人権限を設定すると、税理士は顧客の自己情報を確認することが可能であるが、遠隔地においても設定が可能となるように技術的に検討中、また税理士がアクセスできる顧客情報を、税務上必要な情報に限定できるシステムの構築を検討中とのことで、われわれの業務にも影響のある制度の説明があった。

最後に、マイナポータルを利用して、子育てワンストップサービスの活用を、また自治体や民間事業者発行のポイントカードをマイナンバーカードに統一して、お財布を軽くしようなどと高市大臣の女性らしい一面を窺い知ることのできた研修会であった。(芦屋支部 吉田智代)

後援会ニュース

吉田おさむ後援会

5月22日、ホテルグランヴィア大阪において、定期総会が開催された。来賓として吉田おさむ元衆議院議員、河田秀雄近税政副会長、田達満近税政幹事長が出席した。



高島正彰会員の司会により開会し、協阪説男後援会会長から「5月17日に当後援会の生みの親ともいふべき井戸本泰次近税政副会長が亡くなられた。ご冥福をお祈り申し上げますと共に、当後援会の一層の活性化に努めてまいります。また、総選挙の際には吉田元議員にご支援ご協力をお願いします」とあいさつがあった。

次いで、仲田むつみ会員が議長となり議事に入った。第1号議案から第4号議案が上程され、全議案が可決承認された。来賓の田近税政幹事長が、衆議院小選挙区の区割が改定され、東成区が1区、生野区が2区となった。吉田元議員には来る総選挙で当選され国会でのご活躍を期待していますとあいさつした。

引き続き、吉田元議員から①天皇退位特例法②加計学園・森友問題③憲法改正④衆議院小選挙区の区割見直しなど多岐にわたった講演があった。最後に、来る総選挙で当選すべく活動を活発化して行くと決意を述べた。

続いて懇親会が始まり、河田近税政副会長が、吉田おさむ後援会の成立などを披露し、和やかな雰囲気の中に終了した。

(住吉支部 仕田原恒雄)

うへの賢一郎後援会

税理士によるうへの賢一郎後援会定期総会が、6月9日、長浜ロイヤルホテルにて開催された。来賓として、うへの賢一郎衆議院議員、近税政から河田秀雄副会長、織戸英信滋賀県支部連合会幹事長、こやり隆史後援会から金子紀行会長、川ばた達夫後援会から林繁里幹事長が出席した。



藤居一彦幹事長の司会により開会し、本城善男会長のあいさつの後、直ちに議事に入り、すべての議案について満場一致により可決承認された。また役員改選についても選任された。

引き続き国政報告会に移り、うへの議員からは中小企業を取り巻く環境、特に中小企業税制の充実に尽力したことや、実質GDPの緩やかな回復と有効求人倍率がバブル時の高水準となったことについての説明があった。さらに、昨今の我が国の産業構造の変化や中小企業・小規模事業者に対する今後の政策などについての活動報告があった。また「今後とも税理士の皆様と力を合わせて景気対策、特に地域経済の発展について取り組んでいきたい」と述べた。

その後、河田近税政副会長より「うへの議員にはこれからも我々の声を国政に届けていただきたく、全力をもって支援していきたい」とあいさつがあった。

総会終了後、懇親会となり、盛会のうちに散会となった。(中京支部 高山恵一郎)

伊吹文明後援会

日時 平成29年6月10日
 場所 ANAクラウンプラザホテル京都
 来賓 伊吹文明 衆議院議員
 小林健彦 日税連会長代理
 久保直己 近税政会長
 北村善和 近税会副会長
 室谷澄男 近税政京都府支部連会長
 坂部 浩 近税政京都府支部連幹事長



司会の松村一郎後援会幹事長が開会を宣し、冒頭、急逝された井戸本泰次近税政副会長のご冥福を祈り出席者全員が黙祷を捧げた。

来賓紹介の後、北條巖後援会会長が、伊吹議員にこれまでの感謝の辞を述べた。

第1号議案から第3号議案まで、議長から詳細な説明がなされ、全ての議案が満場一致により可決承認された。

伊吹議員は異次元の金融緩和がカンフル剤として金利安・株高・土地高・消費増の好循環に未だに寄与していないようで、また企業の設備投資による乗数効果も現われていないと述べた。

また、海外展開できる企業は好業績である反面、農業や伝統産業の業績は芳しくなく、企業間格差是正のためにも、財政出動により公共投資を行い、一日も早く国内での有効需要創出が喫緊の課題であると強調した。

久保近税政会長のあいさつの後、懇親会が開催され、小林日税連会長代理が乾杯の発声をし、和やかに懇談し、盛会のうちに閉会した。

(上京支部 東智之)

二ノ湯さとし後援会

税理士による二ノ湯さとし後援会の総会が6月17日、京都センチュリーホテルにおいて開催された。

来賓として、二ノ湯智参議院議員、近税政より笹岡憲一副幹事長、近税政京都府支部連より室谷澄男会長、坂部浩幹事長、税理士による伊吹文明後援会より北条巖会長、税理士による西田昌司後援会より中江嘉和会長が出席した。



まず二ノ湯議員からの国政報告があり、参議院議員選挙のお礼と報告に始まり、現在国会で起きているさまざまな問題について「現在、日本に対する脅威はますます増加している。良識ある国会議員が日本の防衛問題を真剣に考えていかなければならない。日本は安全な国だということは世界に誇れることである。国民の理解を得たい」と述べた。また「現在の日本の政治は緊張感がない。野党も含め、ともに国会でもっと真剣な議論をすべきである」とも述べた。さらに、自民党京都府連会長として、今後の選挙への決意を述べ「国会議員の責任はますます重要になる。老体に鞭打って、国のため地域のために、生涯現役の気持ちで頑張っていく」と締めくくった。

二ノ湯議員は、公務で東京に戻るため退席したが、高橋健後援会幹事長の司会により、船越善博後援会会長のあいさつ、総会、来賓あいさつ、そして懇親会と続き、石原豊後援会副会長の閉会あいさつをもって終了した。

(右京支部 吉田和之)

安藤裕後援会

税理士による安藤裕後援会第3回定期総会が、6月24日、からすま京都ホテルにて開催された。

来賓として安藤裕衆議院議員、近税政より田達満幹事長、京都府支部連より室谷澄男会長、坂部浩幹事長が出席した。

熊谷宏臣後援会幹事長の司会により、開会が宣言され、片野晏宏後援会会長から「日頃の感謝を申し上げます。これからも色々な方の力添



えをいただきたい。もっと多くの税理士の方に安藤議員を支えていただけるよう、忌憚のない意見を聞かせていただきたい」とあいさつがあった。

次に、議長に片野会長が選出され、議事に入った。議案はすべて原案通り、可決承認された。

続いて、来賓祝辞として、田近税政幹事長より「後援会がいかに活性化するかが税政連の活動の基軸となる。そのためにも安藤議員をしつかり支えていきたい」との力強いあいさつがあった。

安藤議員より「より良い経済成長をして、若い世代の方々が安心できる明るく元気な国を創っていききたい。中小企業を守る税制で地方を再生する。みなさまのご理解とご支援をいただきたい」とあいさつがあった。

最後に熊谷幹事長による閉会のあいさつの後、定期総会は終了した。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。 (中京支部 久乗一姫)

近畿税理士政治連盟

第51回 定期大会

日時：平成29年9月15日(金)13時～
場所：帝国ホテル大阪

設立50周年 協力募金 ご協力に感謝いたします

平成29年6月30日までに、以下の1290人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

〔東支部〕

相間 靖三
相間 宏章
赤尾 榮博
安達 正八
池上 義孝
石岡 教生
石川 耕三
泉 洋平
植木 心一
上田 久之
内田 勝久
梅崎 道夫
榎崎 洋
大蔵 俊男
大西 一夫
大西 英樹
岡市 正彦
奥村 眞吾
小田原岸夫
表 正良
折井 宏
加賀城 健
掛 善秀
加藤 正親
金井 博基
金谷 昌恭
金子 秀哲
河合 晃男
河嶋 達
川人 正孝
勘場 義明
木田 賢治
北川 茂実
北田 全基
北野 慎二
清澤 由己
日下 敏彦
耕 泰一郎
小林 佐敏
小山 史郎
是川 武士
衣目 修三
衣目 成雄
近藤 雅人
坂本 芳博

櫻井精四郎
佐藤 善恵
佐名木定夫
佐野 八朗
志賀 恒元
小路 修
杉 孝一
瀬川 昇
關 典人
關 稔
高岡 啓介
竹原 重光
田多 理
田中 祥宏
谷口 和夫
田村 守
塚田 良幸
出口 源太
田 雄一郎
土佐 和史
戸島 利夫
中田 琢也
中松 慎吾
中山繁太郎
中山 準一
檜崎 隆章
西野 恕
新田 実
則枝 征克
春好 崇樹
平口 勲
藤井幸三郎
藤田 洋
藤田 義則
藤林 豊
藤本 清一
寶官 一磨
本田 昭吉
前橋 義明
増田 和彦
柘家 小鈴
松岡 大藏
松原 博吉
松本 常裕
丸山 澄高
三谷 智

三田村善生
宮本 和雄
森下巳代治
森下 芳一
山田 一彦
矢本 博三
弓場 和佐
弓岡 俊文
横山 武宏
吉川 勝
吉田 公也
吉塚 健
吉森 武志
和田 勝弘
〔西支部〕
安藤 修身
石井 基行
大庭 萬三
河合由紀子
木村 守夫
椎原 浩秋
杉澤 章嘉
杉田 宗久
田中 一郎
津島 洋記
西口 安雄
西関 善次
丹羽 達也
長谷部貴史
松井ひとみ
三宅 清生
山根 壯介
横山 良次
吉栖 照美
吉村 政勝
〔港支部〕
岩水 明
大道 和裕
岡 訓範
岡田 武忠
新名 徹
曾谷 敏勝
西村 典雄
秦 雅彦
松本 昭二
山本 憲一

〔南支部〕
浅田 洽爾
猪飼 哲也
池内 國雄
岩本 武士
上野 和雄
上野 義雄
宇都宮 正
宇都宮久嗣
大坂 雅己
大西絹吾郎
奥田 順
加幡 修
川口 晃司
北川 貴敏
北原 慶光
北村 慶和
木原美津恵
國分 博史
古寺 均
笹田 淳
貞方 建吾
城垣圭一郎
甚田 隆康
杉本 和裕
須田 忠義
竹田 三徳
辰巳 正純
谷口 彰
谷口 輝則
辻本 正昭
出口 忠伸
中川 修
中川 諭
中谷 健作
西宮 宣之
平井 慶一
藤岡 直吉
古川 英三
北條 慶子
堀 裕彦
松原 庸晃
松本 五平
宮本 雅充
室田 一榮
森川 優

山科治三郎
吉田 節子
吉田 太三
吉本 利夫
若林日出紀
〔浪速支部〕
岩橋 一好
内海 清次
榮村 聡二
柏山 行雄
下間 茂
竹田平八郎
中谷 裕之
原 仁一
原 仁司
檜垣 典仁
藤原 伸彦
森 英雄
〔北支部〕
芦田 和典
阿部 泰生
石井 國男
井上 悦治
今仲 保郎
大高 俊生
大橋 生佳
岡山 榮雄
加用 俊栄
河合 憲一
川北 光博
川崎 哲之
川瀬亮太郎
木原 義和
久保 良介
黒石 健弘
黒川 文雄
小山 和人
齋藤二三昭
柴崎 光徳
下山隆一郎
高田 道啓
武智 寛幸
玉城 祥啓
辻 弘
辻村登志子
津野紀代志

豊原 正嗣
中島 嘉文
中瀬 進一
中瀬 令造
中野 洋
那須 弘敬
西馬 修
根來 直代
橋爪 功次
早川 隆三
林 哲郎
林 由美子
播本 治男
福元 輝雄
古川 敬明
古橋 明彦
古橋 忠男
蓬萊 富雄
堀 三芳
松井 巧
松野 英親
松本 圭一
眞野 新
南中平八郎
村上 圭
森 崇
山本 安弘
湯浅 眞明
吉田 知義
吉竹 英之
〔福島支部〕
青木 節子
今崎 民治
柿埜 武
小泉 丹二
谷口 和哉
中田 隼人
中村 忠司
山神 清二
〔大淀支部〕
芦田 貢
池辺 健
市川 義人
井上 義英
今中 徳治
小山田 明

加賀 八郎
木下 泰三
古賀 幹雄
佐藤 裕之
佐藤 正尚
鯖戸 正造
杉上七三夫
首藤 忠正
鷺見 昭雄
武田 正徳
徳井 正浩
西田 隆郎
西山 芳樹
野津香代子
早崎 允清
福田 平司
堀田 治
堀田 裕子
前川 武政
松浦 圭子
松岡 昭
松下 隆信
八木 昭
八木 春作
矢野 巖
〔西淀川支部〕
石田 匡美
入江 壽夫
入江 桃子
酒井 勇樹
末永 義孝
田里 眸
土本 拡美
仲田むつみ
矢野健太郎
〔東淀川支部〕
荒家 高志
石橋 幸二
大西 賢藏
小形 俊夫
金子 重二
神谷 雅信
神吉 康史
駒井 隆生
酒井 博史
酒井 庸造

高瀬 久一	中尾 一仁	奥 光明	[東成支部]	中山 彰	嶋田 薫	櫻木 正人
武田 明	原 洋二	小野原 剛	岩間壽榮夫	藤本 正人	嶋田 新一	久富木啓介
坪久田 登	広瀬 芳和	折井 卓	下河内邦彦	[住吉支部]	砂本 清	栗田 健吾
中尾 元信	宮本 俊弘	金山 満博	竹内 学	秋山 利元	高岡 稔	柴田 正吉
中村 靖弘	山本 九一	北浦 絢也	中山 寿光	池上 弘美	高田 哲三	高澤 信也
長谷川 達	[枚方支部]	久木田宣昭	原田 徹	泉谷 栄二	辻本 博美	高松 慶暢
平野 隆照	石橋 忠	倉矢 勇	保泉 幸雄	冲 建一	中口 哲久	竹内 芳彦
藤原 浩	石原 紀一	米谷 忠俊	横井 郁忠	金井恵美子	中下 寛治	忠岡 博
松田 英夫	大森 正	坂上 行男	[阿倍野支部]	北川 匡祥	中村 智之	谷田 勝彦
森本 好昭	大森布実子	坂口 明久	恵納 務	仕田原恒雄	野呂 怜子	西尾 重則
山片 聖司	岡本 重正	嶋仲 直隆	片山 功	下野 三郎	濱田 明久	西川 喜巳
山村 行仁	酒井 敏行	菅原 宏平	片山 拓	瀬古 順子	平野 恵俊	八文字正裕
山本多通男	島津 聰	妙中 茂樹	片山 充	田中 圭子	広村 孝司	平林 誠
米重 仁志	竹原 正和	高橋 孝志	小林 邦雄	田 達満	藤村 恭弘	福森 哲二
[旭支部]	田中 克実	高橋 康人	斎藤 良介	栃本彌四郎	藤本 幸三	本田 浩基
赤松由里子	田邊 誠	田中 保雅	白川 俊一	中野 雅司	政本 彰人	水ノ上成彰
旭 輝明	太矢 努	辻本 典彦	杉本忠三郎	中野 雅司	松田 章	宮前 紀昭
天野香鶴子	中川良比古	辻本 好広	瀬戸 繁治	西村 敏之	松本 哲也	宮前 雅典
五十嵐良子	中谷 廣一	徳 芳郎	高橋 賢二	橋本 良弘	八木 隆行	森 敏則
井上 満	橋本 光世	中尾 隆彦	千村 高司	服部 行男	安田 有一	山口 忠芳
今村 亮彦	林 武	中川 欣哉	佃 幸祐	廣瀬 昌子	山口 秀秋	渡辺 秀介
上田 初幸	平松 正幸	苗村 正弘	中西 英子	外園 善弘	山口 正輝	[泉大津支部]
上田 実	福田 敏彦	南口 純一	西山 孝司	増田 和博	雪松 茜	石谷 秀志
上村 京勲	藤原 和彦	南口 華恵	橋森 宣正	松本 正昭	雪松 弘	岩間 新吾
大久保一成	道廣 友厚	西山 正彦	東畠 憲明	森本 勝志	弓手 宏亮	大西 博己
加賀 元久	道廣 裕子	橋本 香世	道野 充宏	藪内 重人	吉城 鉄也	幸野 陸紀
河内 永子	[門真支部]	廣川 太	宮本 玲子	山下 孝士	吉城 直孝	阪 広久
久木野正志	大崎 正博	松岡 寿子	山脇 守	山下由美子	吉田 信次	高岩 弘至
小山 利巳	大志万泰範	松田 昭久	結城 順吉	大和 司	米満 信昌	原 正人
上保 博	神原 隆雄	的場 勝	若原 國宏	余島 守	[八尾支部]	阪東 寛
高田 裕久	久保田金次郎	的場 良太	[東住吉支部]	[富田林支部]	小柳 徳夫	南 四郎
辻 浩司	志水 龍起	美甘 博義	鮎川 純利	栗田 豊滋	小林 昭一	[岸和田支部]
中川 耐	菅原 正治	山田 榮一	荻堂 直樹	後藤 淑子	杉井 卓男	蘆原 賢一
中川 正治	谷口喜久雄	山田 裕一	岸村 次郎	瀧藤 憲彦	八田 光子	北野 信成
中島 正悟	寺澤 昭洋	山本 敬三	桑野 秀朗	段野 隆弘	平田 進一	木戸 伸男
新田 博之	中島 勤	山本 哲三	坂井 純造	辻本 勇	増田 皓	清原 正治
春名 建吾	中野 喜文	脇阪 説男	佐々木達郎	坪田 真治	松下 俊晴	坂口 和代
松井 光浩	並木 正次	渡部 七サ	笹野 博文	中村 三男	門出 章次	白井希久枝
三瓶 智美	平尾 和夫	[生野支部]	天雲 浩一	濱 幸一	大和 剛	田中 一志
見浪 一敏	吉川 武男	池田 清明	新居誠一郎	東瀧 正治	[堺支部]	寺井 秀次
宮下 公司	吉田 謙一	池田 隼啓	西田 範雄	平山登志雄	東 俊夫	永橋 利志
室田 延孝	[天王寺支部]	池田 啓朋	長谷川孝夫	松尾 直城	安藤 治彦	原 昭太
山田 忠良	浅田 恒博	井上 準治	日野上達也	松尾 八郎	池田 茂雄	藤原 博文
山本 清一	石原 健次	今榮 雅英	福田 尚武	[東大阪支部]	池田真由子	森田 敏裕
[城東支部]	井戸本恭次	岩崎 喬	福山 隆之	石賀 良明	伊藤 憲司	森本巳代治
尾崎 浩文	稲田 繁	小川由美子	南野 喜徳	石津 良行	井上 宗保	山田 晴彦
河田 秀雄	今井 基剛	澤渡 聰謹	山村 三郎	石橋 明史	上田 光臣	吉田 英明
小嶋 健生	上西左大信	高木 康之	[西成支部]	井筒 潮	上田 光隆	和田 章
小寺 隆弘	内田 伸男	文字 和毅	小倉 文彦	上西 知	白間 真次	[泉佐野支部]
駒井 良一	岡本 春市	吉岡 富雄	楠本 雅一	金田 光世	大谷富太郎	川畑 行輝
佐藤 博幸	岡本 好正	渡邊 治男	茶山 了悟	澤井 暎治	岡田 良次	木戸 朋宏

坂本 博文	大川 清見	小西 嘉次	橋本 清治	幡山 玲子	川岸 司	[芦屋支部]
田中 洋	大野 輝人	近藤 明夫	原 綱宗	林 光伸	金原 孝司	岡田 洋
谷口昇一郎	岡本 昌平	藤田 一裕	山崎 武義	[宇治支部]	壽 信明	開発 一三
呑海 英治	小倉 毅	北條 巖	横江 治康	井上 玲子	坂井 昭彦	垣見 正孝
昼馬 義宏	金子 薫	北條 達人	[右京支部]	今西 正二	清水 明	柏木 勝志
松浪 武久	高木 晴雄	松村 一郎	石原 牧	大高 友紀	鈴木知津雄	蝉川 寛嗣
真鍋 光廣	田畑 宏	三宅 崇史	今西 衛	岡田 文彦	竹中征二郎	寺内 設昭
和中 信隆	玉井 敬尚	村尾 慎哉	岩崎 修	片野 晏弘	樽井 博	寺内 華子
[茨木支部]	蓮池 章弘	室谷 澄男	岡本 理博	小泉 彰孝	寺崎 明	中村 良介
伊月 圭子	平山 直樹	矢田 善久	上椋 精二	小泉 孝一	永野 卓美	南木 二郎
伊藤 良昭	前田 秀雄	山畑 文雄	河合 典之	佐川 貞夫	西馬 正義	橋本 渥子
稻見 宗彦	[豊能支部]	渡邊 重樹	岸本 郁男	高瀬 哲也	西原 靖夫	藤原 克彦
今中 英雄	安積 重和	[中京支部]	九鬼 郁雄	樋口 敏夫	森 優子	光永きみ子
小國 英男	井関 孝之	芦田 勝博	下林 忠夫	松本 樹也	山本 芳彦	村松 公人
鎌田久美恵	上野 弘之	岡松 聡	谷口 康夫	湯浦 正信	和田 善弘	森本 康正
川中 雅人	衛藤 雄次	香川 恭子	中江 嘉和	[園部支部]	[灘支部]	山本 雅一
北村 良雄	太田 昌男	金谷 俊昭	藤田 高広	関本 孝一	池田 進	吉田 智代
榊山 京子	大西 尚史	河原林温朗	船越 善博	平井 明彦	池田 直樹	[明石支部]
笹原 克重	荻野真由美	小坂 文夫	本郷 悟	松岡 保彦	石井 道男	河合 正美
杉山 孝一	奥村 量之	坂部 浩	本郷 勝	八釣 重雄	岡村 景明	川本 正明
太尾田 博	小島 隆	佐々木栄美子	山根木雅也	[福知山支部]	高見 悟	北村 光子
高岸 久典	座間 昭男	皿木 秀明	吉田 和之	安達 寛司	中村 實	田中 勇治
高林 克行	芝 宏	土居 澄江	[左京支部]	小笠原 勉	長谷川隆史	徳富 勲
武田 信央	関谷 洋子	土井 赳	井戸 忠夫	岸本 雅生	[須磨支部]	西木 秀和
土井原弘司	高砂 昭宏	中村 清之	井戸 巳之	衣川 憲治	稻澤 伸哉	野村秀次郎
仲 猛夫	武部 俊和	中村 裕人	伊良知弘敏	塩見 満	奥田 一弘	三浦八重子
長井 良明	田中 順也	日向 明泰	河村 澄子	清水 靖昭	倉島 吉男	[加古川支部]
中澤 保恵	田中 啓允	福島 重典	北村光一郎	細見 均	黒田 偉之	有村 昌紀
中西 勝也	土橋 哲夫	松本 安弘	谷松 普史	[宮津支部]	長田 義博	井上 律子
中西 邦彦	中西 節子	南 博光	二股 茂	糸井 正樹	中野 裕之	小川 幸夫
中村 憲次	間 茂彦	村井 淳一	村中 研治	山添 謙三	柰田 裕顯	阪口 正
中村 光子	林 宏昭	[下京支部]	山田 正克	山井 嘉文	[兵庫支部]	坂下 雅一
蓮池 清志	平安 弋作	荒尾 正久	吉澤 俊二	[舞鶴支部]	石田 高雄	中島 省悟
服部 好伸	平山 高明	井上 敏男	[東山支部]	上原 正夫	今中 一壽	西尾 景雄
廣瀬 隆一	藤井壮治郎	上田 浩嗣	石田 善久	片又 昇	鐘ヶ江利晴	藤原 千明
廣田 孝一	藤阪 保文	上田 寛	倉重 由幸	松下 弘	北野 参則	[西宮支部]
藤井 信行	榊田 定子	海来 美鶴	作見 藏市	山田 忠雄	高須 益生	入江 洋
古屋 秀典	三木 康彦	榎 和哉	佐々木高明	[峰山支部]	多鹿 秀夫	浦濱 勇
本田 武士	光成 創	岡本 正	重田 公啓	林 同来	二川 和良	木下 博夫
松尾 康弘	村木 眞志	神緒 美樹	中田 久弘	[神戸支部]	本間 徹	木下 雅晴
松岡 久枝	森田 茂稔	北村 善和	中谷 隆夫	相内 隆作	前田 得雄	久保多佳子
宮口 太	守部 浩二	京極 義雄	藤岡 忍	赤松 健二	三谷 憲正	小塩 明
宮田 義見	米田 稔	後藤 康介	藤原 俊文	石谷全治郎	[長田支部]	阪上 恭一
村上 健司	和田 浩孝	笹岡 憲一	村山 龍夫	伊藤 勝皓	内田 公章	指田 文雄
本西登志子	[上京支部]	志田 育夫	[伏見支部]	今井 廣正	岡田 洋祐	沢田 実
森下 忠志	東 智之	島 陽子	赤岩 綾	入江 順也	光齋 信治	近田 勝介
山内 幹雄	伊藤 正夫	竹村 一志	荒木 一郎	岩木 秀臣	佐藤 信夫	東耕 功
吉川 一夫	大西 康之	土井 充	石川 清	岩木 英一	下田 順司	友松 悦子
吉永 直也	奥村 和義	富村 将之	市川 晃	大城戸武子	高井 秀樹	中寄ゆかり
[吹田支部]	堅田千恵子	中村 英生	植田 順	岡本 浩明	福田 隆彦	永田 清行
東 秀夫	河村 吉宏	西田 昌司	岡部 智弘	加古 雅男	横井 保夫	長沼 隆弘

西山 幸一	川内 保幸	能見洋八郎	出川 洋	齋藤 恒明	[田辺支部]	橋本 淳
野畑 英孝	北岡 昭	人見 孝文	富井 信顯	下林 善信	池田 達夫	増井 常夫
松下 好式	後藤加代子	[奈良支部]	中川憲二郎	竹田千穂子	尾崎 幸宏	村田 正和
村田キヨ子	澤田 樹	青木 幸子	中島 誠	竹中 三壽	中谷 聡	保井 順喜
森本 幸子	澤田 千博	今崎 善彦	西田 吉富	田中 康磨	松本 順子	[水口支部]
八重垣宏司	島本八洲弘	岩本 洋二	長谷川博章	田中 佳則	溝端 昭雄	井上美智江
横山 文彦	城谷 崇敬	上松 康員	東岡 英雄	津村 眞吾	[新宮支部]	今村 新壱
[尼崎支部]	竹之内 清	大平 浩司	東岡 宏	刀祢 眞大	柳川 弘	木田 嘉明
岩泉 周治	内藤 強	大村恵美子	藤田 徹	内藤 博次	[大津支部]	鈴木 勝博
岩泉 恒屋	永尾 清貴	景山 良一	丸田 隆英	西岡 義高	安藤 大輔	林 素也
川上 厚紀	中野徳治郎	亀井 常可	三谷 清重	西川 宏	伊藤 孝夫	山本 善通
岸野 正信	中野 真	北村 吉春	山本 眞市	西本 和生	今井 正人	[近江八幡支部]
佐藤 寛	西村 靖彦	黒田 有紀	吉田 規靖	額田 朋子	小倉 一訓	上野 安德
佐茂 省治	西本美喜雄	島田 明	吉田 廣彰	野志 幸雄	織戸 英信	大林 傳治
辻子 房子	橋本 敬司	新屋 珠美	[吉野支部]	野田 馨	金子 紀行	奥村 達之
西浦 文彦	藤岡 保	新屋 昇	里田 好	服部 潔	川嶋 喜弘	川添 涉
早草 茂	前川 韶治	凶司 節生	谷 正仁	速水慎一郎	北浜 靖朗	川並 和平
三島佐和子	前田 俊明	武野 勝文	[桜井支部]	藤原 剛治	木下 三郎	小西 良一
宮本 信一	松岡 宸宏	谷口 晴康	岩田佐起子	藤原 光男	久保 卓巳	左近 和男
森川 幸敏	山下 哲	徳久亮太郎	杉本 幸弘	堀 博充	久保 直己	澤田 匡央
山陰 雅史	山本 清尊	中垣 安嗣	高田 純吉	水城 斉美	高細 和行	嶋林 博之
百合草裕康	[三木支部]	中嶋 大	高田 雅信	水城 実	寺村 恒雄	西村 純史
百合草陽子	鷲見 英二	中谷 英適	谷口 好克	宮下 良一	中西 知行	西村 典夫
吉田 彰宏	藤本 清	西 親教	戸川 好道	森脇 敏夫	畠山 譲治	久村 和恵
若原 昭	[西脇支部]	西川 孝敏	西岡 明	山中 盛義	畠山 昌輝	肥田美重子
[伊丹支部]	池田 博文	濱田 武利	西峯 慶子	山本 修司	林 繁里	堀 眞澄
伊田 憲司	後藤喜代司	松川 勝美	密井 和子	湯川 直樹	松尾 宏文	宮川 憲治
岡田 彰徳	園崎 仁	村田 昭	[和歌山支部]	[海南支部]	横井 昭次	山本 治三
小田 長正	橋尾 哲夫	山本 智美	淡路 満	加藤 正彦	横井 慎也	[彦根支部]
永岡 英信	[社支部]	山本 佳史	石川 泰廣	岸 友子	和澤 清隆	櫻田 金造
畑中 啓三	上田 幹夫	[葛城支部]	石倉 督斗	中尾 彰	[今津支部]	辻 哲雄
林 文彦	黒石 淳司	新子恵美代	上野 隆也	橋爪 康樹	川上 長和	西堀 勝美
山口 正	西面 重一	乾 裕俊	鵜島 幸夫	宮尾 文也	河原田新市	松本 幸雄
[柏原支部]	吉田 稔	岩崎 和夫	内原 健	矢本 浩之	小畑 雅人	三輪 和宏
梅澤 正義	[龍野支部]	岩崎 年秀	大住 文夫	[粉河支部]	地村 秀磨	[長浜支部]
田原 義朗	稲田 実	菊川 信子	大谷 彰秀	池田 明美	辻 剛	河上 喜全
西田 春夫	大谷 充廣	木下 徳一	大西 省悟	花井 敏晋	戸次威左武	小高 寛三
[洲本支部]	酒本 浩佳	久保 正義	大森 文男	森村 透	[草津支部]	篠原 一儀
隈下 佳剛	[相生支部]	郡 和世	岡野 良平	山本 孝宏	浅井 庄平	田中 光夫
羽田 久晃	津村 孝博	米田 昌弘	勝田 晃夫	[湯浅支部]	小澤 康宏	中川 高志
真野 耕治	細川 昇二	近藤 洋	金岡 孝明	井谷 福市	上西 祥之	本城 善男
[姫路支部]	森 重行	齊藤 勝久	川口 昌紀	成田 誠治	関 輝男	箕浦 康之
石田 陽崇	森 正春	赤築 伸久	川邑 宗司	沼田 信也	鷹羽 稔郎	村田 登
一井 正彦	[豊岡支部]	杉垣 輝樹	北 隆文	[御坊支部]	田中 正志	
上野 政則	池口 達生	瀬戸 昭三	木村 尚之	石永 善裕	田村ひさ子	
小笠原公昭	亀村 亀雄	田中 俊男	木村 雅彦	片山 孝之	東郷 修	
尾上 誠一	北見 龍彦	棚田 敏正	後安 宏彦	佐竹 節夫	中川 徳親	
折山 正	立花 正敬	田村久美子	小谷 匡	原 均	中島 誉子	
梶本 良祐	[和田山支部]	辻井 賢博	小西 里枝	南川 敦	西村 宏	

※設立50周年協力募金につきましては、6月30日をもって、受付を終了させていただきました。
 たくさんのご支援ご協力ありがとうございました。

いまだに学童軟式野球

3人の息子と共に学童軟式野球に関わってから30年、いまだに私だけ学童軟式野球から抜け出せない。なぜか？それは感動と歓喜を味わい、のめり込んだ結果である。最初は時間を取られ大変と思った。ところが子供達の懸命のプレーを見てサポートしなくてはとの気持ちになる。応援する家族も勝ち負けより、子供達の懸命のプレー、表情、態度に夢中になる。そのうちに自分の子、孫以外の地域の代表として頑張っている子供達全員に対し声を出して応援をする。その嬉しさ、爽快さは私が監督をするようになって苦労以上のご褒美でしかない。ある時、成長した子供達に街で出会う。私にはわからない顔で体格の大きな青年が『こんにちは！』と大きな声であいさつをしてくれる。『はてな？誰だったか？』でも選手達は何年たっても私の顔を覚えていてくれる。

先日『新世代のための会議』と称して、活躍している選手、監督、コーチ、母親をお招きしてフォーラムを開催させていただいた。その時の意見を取り上げてみると。

◎なぜ野球をしますか？⇒野球選手として、プロ野球や高校野球(甲子園)に憧れがある。

◎勉強もしますか？⇒練習、試合で忙しいが時間を工夫して計画的に勉強もしている。

子供を取り巻く環境は、少子化の時代で小学生の数が減少している。これからも子供達が減っていくのが明らかである。現代の子供たちの気持ちを少しでも理解し、将来の社会の担い手が大きく成長することを願ってやまない。野球を通したこれらの活動は、家庭教育、学校教育とは別の第三の教育として、地域社会が大人も一緒になり子供を教育する一つの手法と位置づけができる。

これからもこの大事な土壌づくりをしっかりと支えていきたい。

(奈良支部 黒田有紀)



近税政本部のうごき

○第1回広報委員会(7月7日)

- 第51回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
- 第51回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件
- 機関紙第225号(7月号)の批評
- 機関紙第226号(8月号)の編集に関する件
- 機関紙第227号(10月号)の編集企画に関する件 他

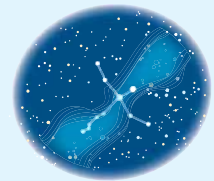
○政策・財務・組織合同委員会(7月19日)

- 第51回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
- 第51回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件 他

○国対・選対・後援会対策合同委員会(7月20日)

- 第51回定期大会・国政報告会・懇親会の開催に関する件
- 第51回定期大会提出議案(原案)の作成に関する件 他

銀河系



かわいい図柄のシール式の切手を目にすることはありませんか。これはグリーティング切手という名称で、様々な図柄、形をした切手10枚が、シール式の1シートに収められ、通常の切手と同じ料金で販売されています。図柄は季節感を感じるイラストが多く、有名なキャラクター柄もあり、形は楕円、三角形のものも見られます。これらは貼り付けも便利であり、事務作業の楽しみとなっています。また近くの郵便局では、窓口横に多くのシール式の切手が並べられており、順番待ちをしているとそれらに引き寄せられ、思わずストック用にと買ってしまいます。

ビジネスにおいても細やかな楽しみを添えられたらと思い、季節を感じられる花々の切手を使う機会が増えました。年々郵送する頻度は減っているようですが、このような切手という文化、紙媒体の機関紙も大切にしたいです。(芦屋支部 吉田智代)

「表紙」題字:「第4回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 最優秀会長賞作品

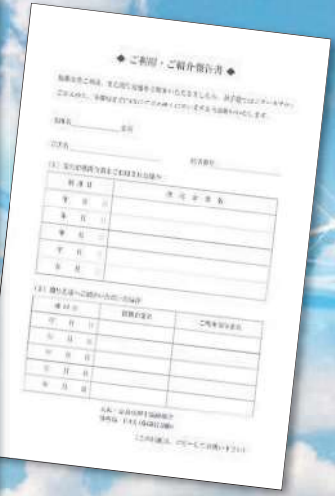
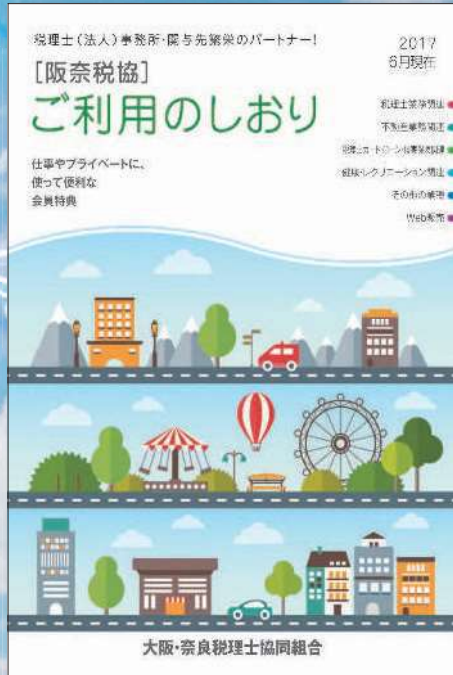
(作=小倉さやか 上京支部)

ご利用のしおりが新しくなりました

※平成29年度 上期教育情報資料に同封

提携企業約80社の
提携内容・特典など
を掲載

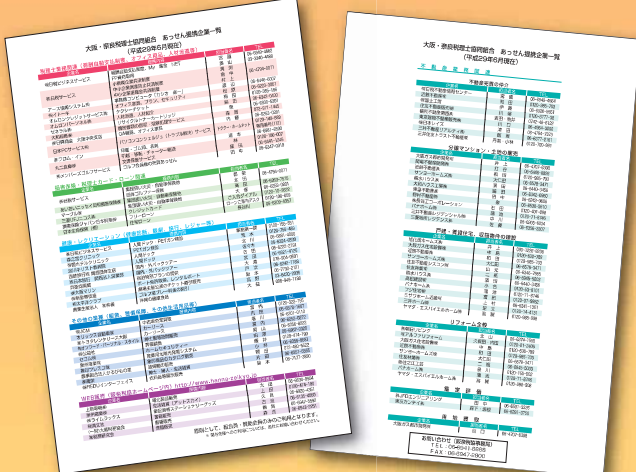
仕事や
プライベートに
ご利用
ください



利用状況把握のため、巻末の◆ご利用・ご紹介報告書◆の提出にご協力ください

あっせん提携 企業一覧表

平成29年6月現在の
あっせん提携企業を一目でわかる
一覧表を作成いたしました。
ご利用のしおりと共に
是非お手元においていただき、
ご活用ください。



大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4(近畿税理士会館11F)
TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800
URL : <http://www.hanna-zeikyo.jp>